

(和5年) パテントコンテスト 新しい生活様式アイデア賞

命を救うハンカチ 胸骨圧迫(心臓マッサージ)補助具

愛媛大学医学部医学科 2 回生 冨岡 珠里

①正しい姿勢で胸骨圧迫(心臓マッサージ)を 行える人が少ない。

②胸部があらわになるため、抵抗感やためらいを 感じてしまう。

解決手段

課題① 正しい姿勢で胸骨圧迫(心臓マッサージ)を行える人が少ない



胸骨圧迫時の姿勢を矯正する 補助具の開発

手の付け根から肩まで真っすぐに 伸ばしたまま、倒れている人の 胸の真ん中を真上から強く押す!

令和5年 パテントコンテスト

解決手段

課題② 胸部があらわになるため、抵抗感や ためらいを感じてしまう



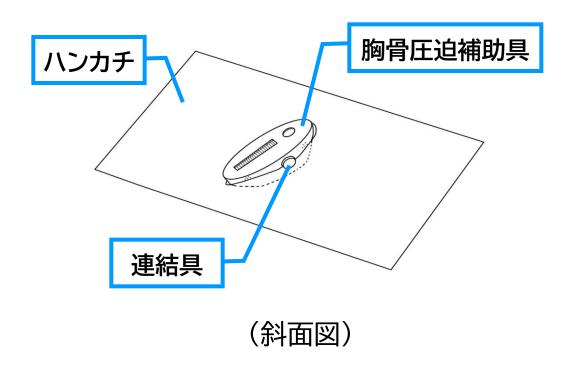


胸部を覆えるハンカチと 胸骨圧迫補助具との合体



受賞作品

(命を救うハンカチ)

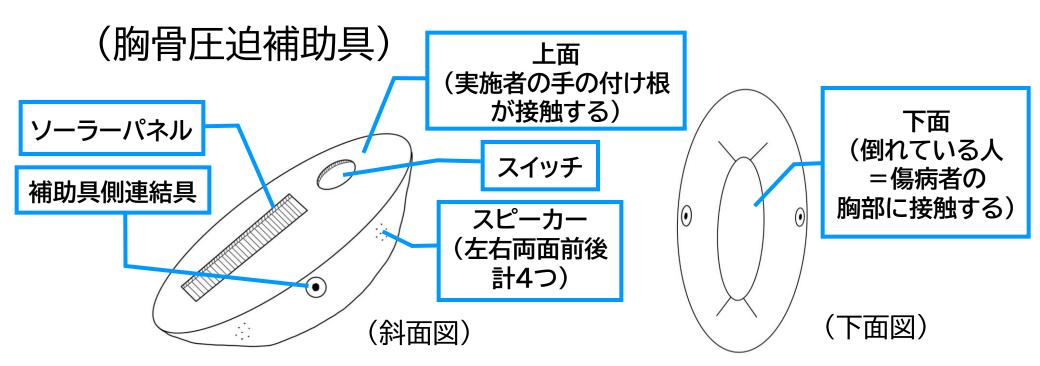




(試作品で体験)

令和5年度 パテントコンテスト

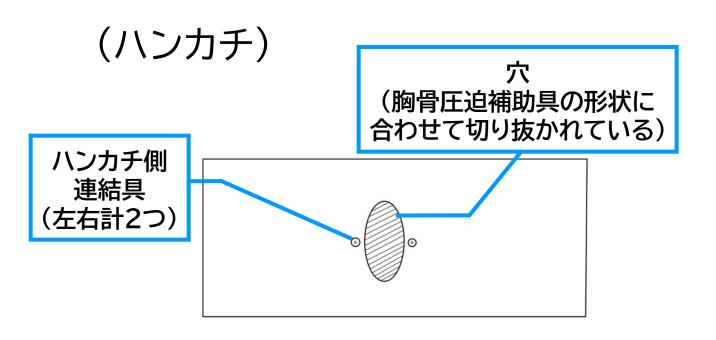
受賞作品



〈ポイント〉

令和5年度 パテントコンテスト

受賞作品



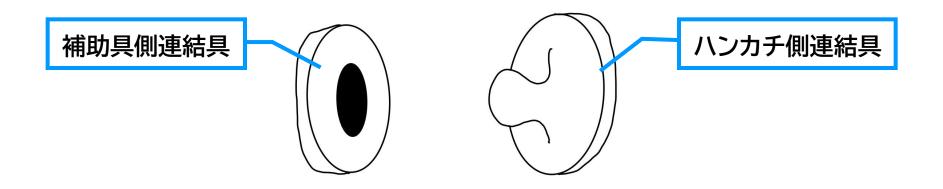


〈ポイント〉

普段はハンカチとして使える一方、心肺蘇生法を行う場合は傷病者の胸部を覆った状態で胸骨圧迫を行うことができる。これにより、胸部があらわになることへの胸骨圧迫実施者の心理的抵抗を軽減させると共に、傷病者のプライバシー保護にもつながる。

受賞作品

(連結具)



〈ポイント〉

補助具とハンカチのそれぞれに取り付けられる。スナップボタンのように留め外しができるため、胸骨圧迫補助具とハンカチを簡単に取り外すことができる。

1つでも多くの人の命を、 "みんなで"救える世界に。

